

「プログラミング×ウェルビーイング 世代間交流」 実証結果

令和5年に策定された文部科学省の教育振興基本計画では、ウェルビーイングが位置付けられ、「個人が獲得・達成する能力や状態に基づくウェルビーイング」と、「人とのつながり・関係性に基づくウェルビーイング」を調和的・一体的に育むことが記載された。

また、県が実施している県民アンケートでは、人とのつながりや、地域で活躍できる場があることが、県民のウェルビーイングに関連する結果が出ている。

これらを踏まえ、敦賀市、企業等との連携により、児童がテキストプログラミングを学ぶとともに、学んだ知識を活かして高齢者との交流を図ることにより、児童と高齢者のウェルビーイングにどのような影響があるかを実証する事業について、以下のとおり実施した。

- 1 日 時 令和7年2月15日(土) 14:30~16:00
- 2 会 場 敦賀市松原公民館 1階 ホール
- 3 内 容 児童が高齢者にプログラミングの知識を伝授するとともに、両者が協力し合ってロボットを指定されたコースを自走するようにプログラミングを行いながら交流を深めた。
(参加者は地域に根ざしプログラミングの機会を提供する教室で学習している児童)
交流後に、児童と高齢者それぞれにアンケートを実施
- 4 参加者 敦賀市内プログラミング教室に通う児童 13名
松原公民館のダンススクールのメンバー 7名
- 5 運営 主 催: 福井県、敦賀市
共 催: 福井県こどもプログラミング協議会
協 力: 株式会社 TAS、App CAMP、株式会社 B Inc、
慶應義塾大学医学部健康政策・管理学教室

参考: 文部科学省「教育振興基本計画」(令和5年6月閣議決定)

日本発・日本社会に根差したウェルビーイングの向上

日本社会に根差した
ウェルビーイングの向上

日本の社会・文化的背景を踏まえ、我が国においては、自己肯定感や自己実現などの獲得的な要素と、人とのつながりや利他性、社会貢献意識などの協調的な要素を調和的・一体的に育み、日本社会に根差した「調和と協調」に基づくウェルビーイングを教育を通じて向上させていくことが求められます。



6 参加者アンケート調査

(1)調査概要

文部科学省「令和 5 年度全国学力・学習状況調査ウェルビーイングに関する分析報告書(以下、文科省報告書)」によると、「自己肯定感」、「友達関係」、「教師サポート」が「主観的幸福感(ウェルビーイング)」につながる可能性が示唆されている。

今回、文科省報告書を参考にするとともに、慶應義塾大学医学部健康政策・管理学教室の助言のもと、参加した児童に対してアンケート調査を実施した。

参考:文部科学省「令和 5 年度全国学力・学習状況調査ウェルビーイングに関する分析報告書」

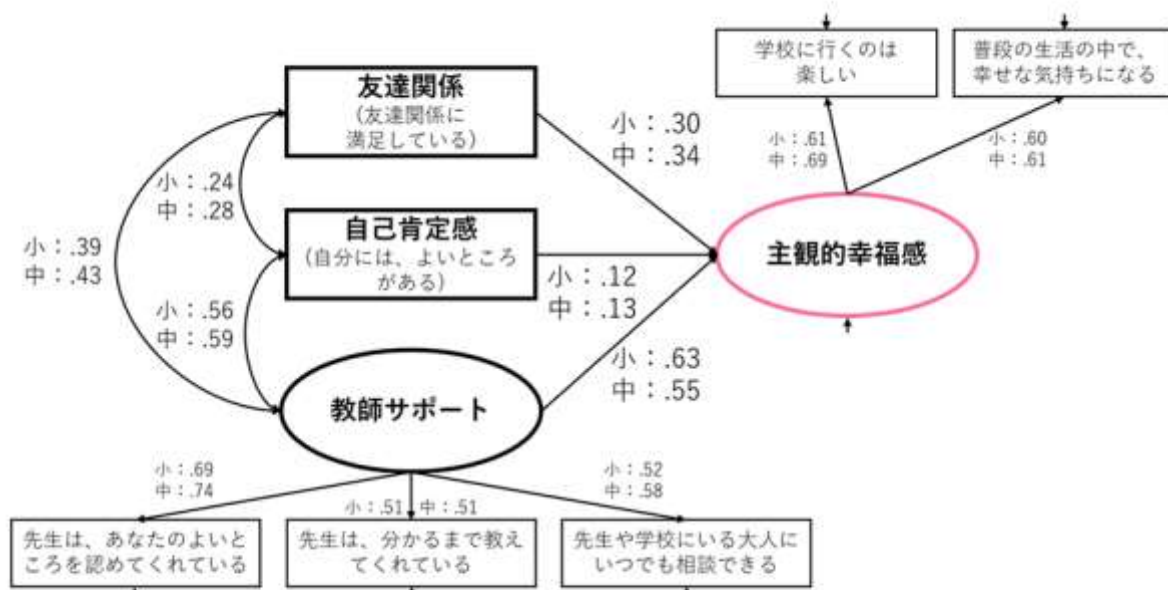


図 2. 共分散構造分析の結果

小は小学生、中は中学生の標準化係数(片方矢印)および相関係数(両方矢印)であり、すべて 0.1%水準で有意。
数字なしの片方矢印は誤差変数の設定。

(2)結果概要

- ・児童の大多数が自己肯定感、友達関係の満足、先生サポートが得られたと回答し、児童全員が主観的幸福感を感じたと回答
- ・児童は主観的幸福感を感じた理由として「先生がわかるまで教えてくれたとき(54%)」、「自分でプログラミングができるようになったとき(62%)」、「高齢者が楽しそうだったり、喜んだりしたとき(62%)」、「高齢者にプログラミングをうまく教えることができたとき(77%)」などを挙げた ※カッコは児童の回答割合
- ・児童はプログラミング教室、高齢者との交流会について楽しめたと、それぞれ満点または満点近い評価(☆5つが一番高い評価でそれぞれの平均評価がプログラミング教室☆5、高齢者との交流会☆4.85)。児童の大多数が今後同様の交流会への参加を希望
- ・高齢者全員が主観的幸福感を感じたと回答
- ・高齢者は、児童との交流会を楽しめたと満点近い評価(☆5つが一番高い評価で平均評価が☆4.86)。高齢者の大多数が今後同様の交流会への参加を希望

(3)所見(幸福実感ディレクター 飛田)

本実証事業を通じて、文部科学省報告書と同様に「自己肯定感」、「友達関係」、「教師サポート」が児童の主観的幸福感につながる可能性が示唆された。

また、今回、主観的幸福感を感じた理由として、「高齢者にプログラミングをうまく教えることができたとき」を挙げた児童が一番多かった。学んだプログラミングを通じて、児童が地域で活躍できる場をつくることにより、児童のウェルビーイングを高める可能性を感じた。

加えて、高齢者のウェルビーイングにもつながっており、児童、高齢者ともに大多数が今後同様の交流会への参加を希望している。県民のウェルビーイング向上のため、本実証をもとに同様の活動が広がっていくことを期待する。

7 参加者の感想

- ・「プログラミングを教えるのは難しかったが、とても楽しかった」(児童)
- ・「プログラミングを教えることで自分の理解も深まりいい機会だった」(児童)
- ・「子どもたちのプログラミング技術に驚いた」(高齢者)
- ・「子どもたちの教え方が上手だった」(高齢者)

8 当日の様子

